



ゆうあい

校長ブログ→



学校教育目標：『在りたい自分を創る主人公』

2026(R8)年6月11日
豊岡市立豊岡小学校 学校だより
No.4 児童数 297名

自分を大切に、人を大切に

- ◆ 4泊5日の自然学校に5年生が参加しました。兎和野高原野外教育センターや神鍋高原、円山川公苑で、集団で生活し自然体験活動を行いました。目的は「自立心」と「自己肯定感」を高めることです。様々な活動と集団生活の中で、非認知能力がたっぷりと発揮されていました。
- ◆ 時間より早く集合する。集まった場所では、おしゃべりをせずに静かに待っている。トイレのスリッパやお風呂のいすなどが美しくそろえられている。行く先々で元気よくあいさつする。仲間に温かい声をかけたり、さりげなくフォローしたりする。自然豊かな場所で、仲間を必要とするプログラムと集団生活の中で、子どもたち一人一人が持っている非認知能力や素敵な人権感覚（気づき）と人権意識（行動）が現れました。
- ◆ とりわけ育ちつつあるなあと実感したことは、仲間への気遣いです。様々な事情から、途中参加したり、途中一時帰宅したりする仲間もいました。しかし、その時々で、小さく声をかけたり、手を振ったり、何も言わないけれど温かく迎え入れてニコッと微笑んだり……。そのさりげなさが際立っていました。途中から入ったり、途中で抜けたりすることは、大人でさえ、少し抵抗があり勇気がいるものです。しかし、いつでもすんなり受け入れてもらえたり、できるところまで頑張ったことをわかってもらえたりすることは、大きな安心感に包まれます。さりげなく他者の心情を想像し、他者を大切にすることができると5年生の子ども達。普段の生活の中でも発揮されているこうした良さを、私たちはもっと見つけなければと思いました。



じゃんけん列車



班旗づくり



ニジマスつかみ取り

- ◆ 一方で課題もありました。楽しい気分になると盛り上がりすぎてしまい、その

後の切り替えが難しい場面もありました。今後、学校生活の中で、子ども達が自分でよりよくしていく雰囲気を作ることができるよう指導を続けます。

保護者の皆様には、たくさんの荷物の準備、心身の健康管理など、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

第1回学校運営協議会を開催しました

◆ 6月9日（火）に令和8年度第1回学校運営協議会を開催しました。

第1回目は、学校経営方針を承認していただき、学校運営協議会でめざす子ども像とランドデザインを共有しました。また、学校からは、不登校やいじめが大きな課題であることもお伝えしました。委員の皆様からたくさんのご意見をいただきました。

- 不登校になっても、「とりあえず学校に来い」このメッセージが強すぎるのではと感じている。今は、来るのが第1ではないと思う。
- いじめや不登校の問題はどの学校でも大きな問題だ。豊岡小学校では丁寧に見てもらっているので、その対応はありがたい。
- 学校では非認知能力を大切に伸ばそうとしてもらっている。大人になっても非認知能力は大切だと思う。しかし、これは学校だけでは身につかない。地域の大人との関わりが大切だと思う。先生たちはとても丁寧に関わってもらっている。一方で、働き方改革も進めなければならない。学校から遠慮なく「ここをお願いしたい。」とどんどん投げかけてもらったらよい。先生方の負担も減らしてほしい。
- こうして役をして、学校の先生方や校長先生と話をする機会をもらってきた。学校の丁寧な取組がとてもよく伝わってきて、子どもに寄り添っていつも気にしてもらっていることをひしひしと感じる。しかし、当たり前のように我々には情報が入ってくるが、一般の保護者に、こうしたことが伝わっているか。もっと、学校の素晴らしい取組を広めてほしい。小学校では丁寧に寄り添ってもらっている。中学進学時に中学校の対応とのギャップを感じているかもしれない。
- 入学した時、コロナで長く臨時休校があり、つながりが制限された環境で子ども達は大きくなってきた。数年たった後でも、同級生の子どもさんと保護者の顔が一致なくて、コロナの影響はこんなところにもあるのだと実感した。やはり人と人のつながりはやはり大切だと思った。
- SNS にどっぷりはまっているお子さんの話を聞いた。帰宅しても、毎日2～3時間 SNS をしながら勉強しているとのこと。小学生でも寝る時刻が23時以降だとも聞いた。家で楽しいことがいっぱいあり、学校に行きたくない原因にもなっているのでは。保護者の方も苦労されているが、規則正しい生活習慣が大切だ。
- 豊岡小学校の子どもと先生の良い関係、それを応援する保護者や地域の関係は豊岡小の伝統だと思う。よい風土、心地よさを感じている。一方で、先生方の職場環境にも配慮した方がよいと思う。働き方改革が進みやすいように、学校運営協議会としても関わっていければよい。子どもの少子化も含めて、時代の変化に、どう対応していくか、多くの人に教育環境が良くなるように伝えることが必要だ。

◆第2回は8月に開催します。中間学校評価について報告します。また、だんじりパレードの安全対策や、今後の在り方についても議論していただく予定です。